# 《 兵庫県立吉川高等学校(全日制課程普通科) グランドデザイン 》



□ スクール・ミッション □

「能力の開発善用」の理念のもと、学び続ける力、未来を描く力、自らを律する力、他者とつながる力を備え、地域社会と将来世代に貢献できる人材を育成する。

□ スクール・ポリシー(三つの方針) □

#### ○ 育成をめざす資質・能力に関する方針(グラデュエーション・ポリシー)

- ① 基礎学力を身に付け、潜在可能性の開花のために学び続けること ができる生徒を育成する。
- ② 自己の感情を律する力を持ち、「ちがい」を認め合うことができ る牛徒を育成する。
- ③ 自らが立てた志を得るために、失敗を恐れず努力・挑戦すること ができる生徒を育成する。
- ④ 他者と協力・協働し、困った時は適切に助けを求めることができ る生徒を育成する。
- ⑤ 地域を愛し、地域社会と将来世代に貢献することができる生徒を 育成する。

## ○ 教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)

- ① 個に応じた指導、少人数授業、義務教育段階の学習内容の「学び 直し」の充実を図る。
- ② 特別活動等を含む全ての教育活動で、自己有用感や規範意識を育 む学びを展開する。
- ③ 多様な進路希望に応えられる類型を設置し、興味・関心に対応し た選択科目を設定する。
- ④ 支援の必要な生徒の実態を把握し、サポート体制を整え、支援ブ ログラムを実施する。
- ⑤ 地域の課題に係る探究活動や、異年齢との交流・連携事業等によ る学びを展開する。

学

2

学

年

学

年

個別最適な学び

· 少人数/同室複数指

導/習熟度別の授業

・「学び直し」の機会

・学びを支え成長を促

・ICT 機器の活用

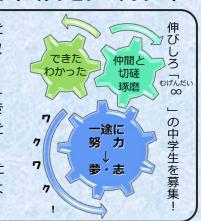
個別指導の充実

す評価の工夫

【補注】

## ○ 入学者の受け入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)

- ① 「できた」「わかった」の喜びを 味わうため、学習活動に実直に取 り組もうとする生徒を募集する。
- ② 仲間同士、共(友)に学び、支え 合い、認め合い、高め合い、磨き 合える関係を築こうとする生徒を 募集する。
- ③ 人生に希望を持ち、自らが描いた 夢の実現に向けて一途に努力しよ うとする生徒を募集する。



\*情報デザイン・コンテンツの制作と管理・情報産

業と社会・情報実習等、計10単位の情報科目開設

\*情報処理・ビジネス基礎・ソフトウェア活用・簿

記、計10単位の商業科目開設 \*資格取得(情報処理検定・ビジネス文書検定等) \*就職、専門学校進学に対応

\*情報系の専門学校等への進学、就職に対応

# 一能力の費用一







地域社会と将来世代に貢献=『恩送』

口将来、社会的・職業的に自立し、 社会の中で自己の役割を果

たしながら自分らしい 生き方ができるよう 「キャリア教育」

を推進します。

人生に希望を もち将来設計を する力、夢を描き 挑戦する力の育成

口勉強を苦手とする生徒もいます。 個に応じた指導や少人数授 業、義務教育段階の学習 基礎学力の 内容の「学び直し」等 定着による で自信を回復させ、 「わかる」喜び と潜在能力の伸長 潜在可能性の開花 を支援します。

めざす

育成を

口特別活動やボラ ンティア等を通じ ∖を通した他者への て、すべての生徒に 関心と愛着・信 「居場所と出番」のあ 頼感、他者と る学校をめざします。 の絆の育成 困った時は一人で抱え込ま ず、周囲とつながり、正しく 依存する「生きる力」を育みます。

口社会で生きるた ルールやマナーを めに必要不可欠な 守り、自分の感 力である「時を守り、 情をコントロ 場を清め、礼を正す」カ 一ルする力 の育成 を培います。自己の感情を 律し、自他の人生を大切にす る心と人権尊重の意識を育みます。

□人の生涯にわたる学びの根っこには、自分を創り出そうとする力、自ら変わる力がありま す。教職員は、生徒一人一人が「自ら育つ(二変わる)力を秘めている」ことを信じ、「誰一 人取り残すことがない」よう、「師弟同行」の伝統・校風のもと、「真心込めたおせっかい」 を焼き続けます。

#### 凡 ○進路実現・自己実現に向けた学力の向上 ○将来を展望する力と実現するための社会人基礎力の育成 ○相互の信頼関係の確立と心豊かな人間性の涵養 底 【伸びゆく夢】 ○進路希望に応じた類型選択と確かな学力の形成 A: 当たり ○在り方生き方を考えさせるキャリア教育の充実 前の事を ○自主・自治活動を通じた豊かな人間性と主体性の育成 B:バカに せず 【育む夢】 C:ちゃん ○学習習慣の確立と幅広い基礎学力の定着 とできる ○規則正しい生活習慣の確立と他者を理解する態度の涵養 ○進路や将来の職業を考える前提としての自己理解の推進 生徒の育成

# 特別活動等 による学び

- ・生徒が主体のホーム ルーム活動、生徒会 活動、学校行事
- ・生徒の自主性を尊重 した部活動
- ボランティア活動の

#### 進路希望や興味・ 関心に応える学び

- ・特色ある類型別授業
- ・多彩な選択科目群 各種資格の取得奨励
- ・特別非常勤講師や外 部専門家の活用
- ・進路ガイダンス機能 の充実

# チーム吉川に よる生徒支援

2学年からの類型

情報キャリア類型

(特色選抜)

実 践 文 化 類 型

- ・全教職員の情報共有
- · CoCoLo-34、Q-U の実施と活用
- ·中学校、市教委、特 別支援学校、外部専
- 門家等との連携 ・教育相談の活用

#### \*国語・英語の授業が充実 総合科学類型(文系) \*文系の四年制大学への進学に対応 \*数学・理科・英語の授業が充実 総合科学類型(理系) \*理系の四年制大学への進学に対応 地域連携等

# による学び

\* コンピュータ実習が充実

- ・こども園・小学校・ 中学校との連携
- ・地元自治会・老人会
- 等との協働 各種地元行事への参 画と協働
- ・インターンシップ

生徒 一人一人を 大切にする 重層的支援・教育 生徒 一人一人が

主役になれる

学校

「働きがい」

のある学校

教職員の資質・能力を育成し、組織全体の実践的指導力を高めるための時宜に応じた研修と OJT の実施

■同僚性が高く、高め合い、協力し合える教職員 ■風通しがよく、服務規律が確立し社会人としての良識を備えた教職員

# 「恩送り」とは?

- \*「恩返し」は、基本的に恩を受けた当人にお返しする「1対1」、ギブ&テイクの関係です。一方、「恩送り」は、受け取った恩をバトン のように受け渡していく方法です。親切や善意を受け渡す人数に上限はなく、必要とする人に順に送ることができます。それにより善意
- が社会を巡り、優しさや思いやりの連鎖が無限に広がっていきます。 \*現代社会は、「恩送り」=「恩のバトンリレー」の結果として存在します。もちろん、吉川高等学校の「今」があるのも同様です。
- \*一人一人が「今、自分にできる『恩送り』は何だろうか」と考え、実践することは、学習指導要領の理念である「持続可能な開発のため の教育(ESD)」の推進と、「持続可能な開発目標(SDGs)」の実現のための探究活動そのものだといえます。